平成 25 年 7 月 25 日

各　　位

会社名	タカラバイオ株式会社 （コード番号 4974　東証マザーズ）
本社所在地	滋賀県大津市瀬田三丁目４番１号
代表者	代表取締役社長　　仲 尾　功 一
問合せ先	代表取締役副社長　木 村　　睦
ＴＥＬ	（０７７）５４３-７２１２
ＵＲＬ	http://www.takara-bio.co.jp/
親会社等の名称	宝ホールディングス株式会社
代表者	代表取締役社長　　柿 本　敏 男 （コード番号 2531 東証、大証 1 部）

日本全薬工業株式会社と細胞凍結保存用製品の販売契約を締結

タカラバイオ株式会社と日本全薬工業株式会社（以下、「ゼノアック」）とは、ゼノアックの細胞凍結保存用試薬であるセルバンカーシリーズの販売を、当社が日本国内において独占的に行うことに合意し、本日付で販売契約を締結しました。当社は、当該製品を2013年8月1日より販売開始いたします。また当社は、欧州および北米においても、セルバンカーシリーズ製品を非独占的に販売いたします。

細胞を用いた研究分野において、細胞を凍結保存する技術は、長期に渡る継代に伴う細胞の状態変化の防止や、細胞の輸送等を行う上で必須の技術です。また、世界中の細胞バンクでさまざまな細胞株が凍結保存されるだけでなく、畜産業や生殖医療における生殖細胞、受精卵の凍結保存に利用される等、細胞を凍結保存する技術の用途は多岐にわたっています。

最近では、日本政府が進めている「疾患特異的iPS細胞を活用した難病研究」プロジェクトにおいて、作製された疾患特異的iPS細胞が細胞バンクで凍結保存される計画になっています。今後ますますiPS細胞やES細胞といった幹細胞を凍結保存する技術に関するニーズは増えていくことが予想されます。

今回販売するゼノアックのセルバンカーシリーズは、1992年に発売されて以降、①凍結融解後の細胞生存率が高いこと、②プログラムフリーザー等の特別な装置がなくても通常の超低温フリーザーだけで急速凍結および長期保存が可能なこと、③試薬を調製する必要がなく雑菌が混入するリスクを低減できること、などを強みに広く市場に浸透しており、細胞凍結保存液の国内市場においてトップシェアを獲得しております。

今回の提携により、PCRをはじめとした遺伝子工学研究製品に強みを持つ当社の製品群に、細胞工学分野に強みを持つゼノアックのセルバンカーシリーズが加わることで、さらに当社の製品ラインナップが強化されます。当社は、これまでに築いてきた販売網を活かし、国内外においてセルバンカーシリーズをさらに拡販していきます。

なお、本契約締結による、当社連結および単体の平成26年3月期業績への直接的な影響は軽微ですが、当社は今後も遺伝子工学研究事業の製品・サービスの充実を図り、売上拡大を目指します。

当資料取り扱い上の注意点

当資料中の当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

＜参考資料＞

【日本全薬工業株式会社の概要】

会社名　　：日本全薬工業株式会社
設立　　：1946 年
代表者　　：代表取締役会長：福井邦顕
　　代表取締役社長：高野恵一
住所　　：〒963-0196 福島県郡山市安積町笹川字平ノ上１番地の1
事業概要　　：医薬品（主に獣医用）ならびに動物用医薬品の開発・製造・輸入・販売
ホームページ：http://www.zenoaq.jp/

【語句説明】

細胞凍結保存

細胞を培養液中でそのまま凍結すると、細胞の内部やその周辺部の水分が結晶化し、細胞構造が物理的に破壊されてしまうため、解凍後の細胞は生存することができません。細胞を凍結保存する際には、細胞内および細胞周辺部での水分の結晶化を抑え、細胞の物理的な損傷を防ぐことが必要となります。

継代

細胞培養において、新しい培地に細胞を一部移し、次代として培養すること。

以上